

## 編集後記

日々生起する諸問題にどっぷりと浸かり、時にがんじがらめになることを宿命づけられているのが学校教育です。子どもや保護者たちの問題は言うを俟たず、2009年PISA学力・学習状況調査、週五日制の動揺、そして新しい学習指導要領等、何らかの対処を求められる問題群は枚挙にいとまがありません。

学校教育学専攻は筑波大学大学院の前期・後期課程制への移行の完結に伴って後期課程のみの課程となりました。そのため本号より〈中間評価論文要旨〉の掲載がなくなり、また昨年度は課程博士が出なかったために、本号には〈博士論文要旨〉も掲載されておられません。それにもかかわらず、厳正な査読を経て掲載された論文群、また在籍院生の活発な活動報告は、本号のボリュームを確保するとともに、さまざまな局面から「何らかの対処を求められる問題群」に対する手がかりの一端を示したものと言えるでしょう。

(編集委員会委員長 甲斐雄一郎)